芳賀・宇都宮LRT事業について

VERY GOOD LOCAL とちぎ

国内外の先進事例の紹介

広島電鉄　グリーンムーバーマックス

岡山電気軌道　MOMO

フランス　ストラスブール　トラム

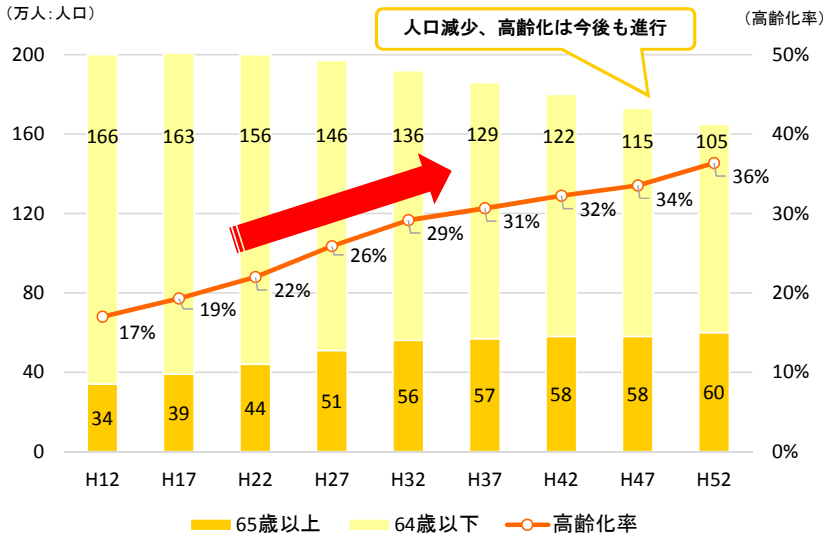
富山ライトレール　CENTRAM

県内公共交通の現状とLRTの導入によるメリット

人口減少・超高齢社会の進行と公的負担の増加

人口減少・超高齢社会において、将来にわたり豊かで活力ある社会を実現していくためには、公共交通網の維持・充実が不可欠となります。

◆県の年齢階級別人口推移



出典：国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所資料を基に作成

一方で、民間路線バス・市町村バス・デマンド交通に対する公費負担額は、H27年度には20億円を超え、生活交通の効率性の向上が課題です。

◆生活交通運行に係る公的補助／負担の推移

出典「とちぎの公共交通」

LRTの導入による公共交通ネットワーク

LRTを県央地域の東西公共交通の新たな基軸として整備し、周辺市町の各地とを結ぶバス路線やデマンド交通等の地域内交通と組み合わせることで、公共交通空白・不便地域を解消し、誰もが容易に移動できる地域社会の形成を目指すものです。

LRT導入後の公共交通ネットワークのイメージ

県内にLRTが導入されると・・・

1. 利便性の高い広域的な公共交通網が実現されます。
2. 通行の定時性が確保されることで県道機能が拡充します。
3. 地域振興や産業経済の活性化などによる県勢の発展につながります。

出典：第15回「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」資料

そのため

ＬＲＴは、県民はもとより全国・海外からの来訪者にも魅力ある交通手段を提供するもので、栃木県に元気をもたらし「選ばれる“とちぎ”」に向けて大きな力となるものであることから、栃木県としても早期実現を支援します。

鬼怒川左岸地域の工業団地群

1　工業団地群の概要

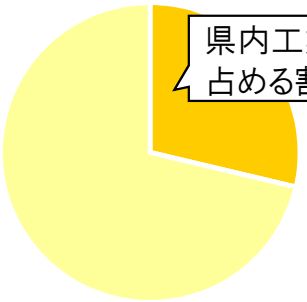
清原、芳賀、芳賀･高根沢工業団地には3万人を超える従業員が勤務し、キヤノンやホンダをはじめとする世界規模の企業が多く立地するなど、本県の産業活動を牽引しています。

清原工業団地

芳賀、芳賀･高根沢工業団地

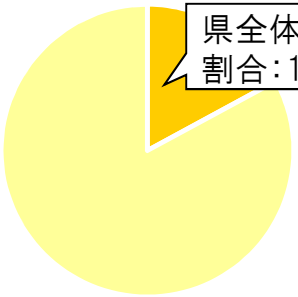
鬼怒川左岸地域の工業団地の規模

従業員数
約35,000人



出典：栃木県産業団地企業一覧(H26.4.1)

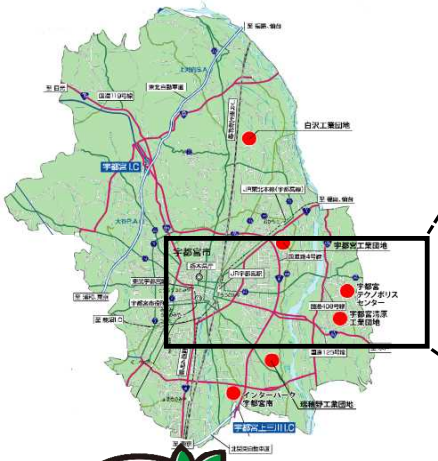
製造品出荷額等
約1兆4,200億円

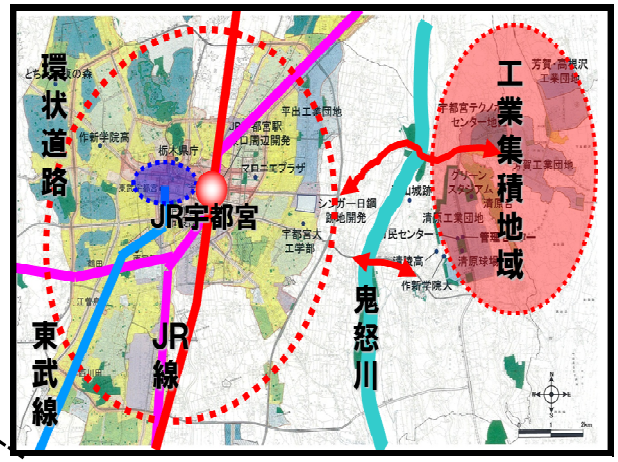


出典：栃木県工業統計調査(H26.3.17)

2　宇都宮東部地域の問題点

居住地が鬼怒川の西部に立地している一方で、工業集積地域が鬼怒川の東部に立地しているため、自家用車で通勤する方が多く、通勤時間帯に交通渋滞が発生しています。





LRTの導入によって、交通環境が改善され、沿線に立地する企業の競争力が高まり、県内各地に立地する関連企業への経済波及効果などが期待できます。

LRTの車両とICカードの導入

LRTとは、Light Rail Transitの略で、従来の路面電車と異なった高いデザイン性を備え、騒音や振動が少なく、乗り心地など快適性に優れた低床式車両（LRV）を活用し、軌道・停留場の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代型の路面電車システムのことです。

◆導入車両のイメージ（福井鉄道）

フクラム（福井鉄道）
全長：27．16m　定員：155名

FUKURAM（フクラム）　車内の乗車風景

◆バリアフリー車両について

低床フロアにより停留場と車両に段差がなく、高齢者や車いすの方もスムーズに乗り降りすることができます。

低床式車両・
バリアフリー対応

車いすでの乗降

広島電鉄グリーンムーバーマックス

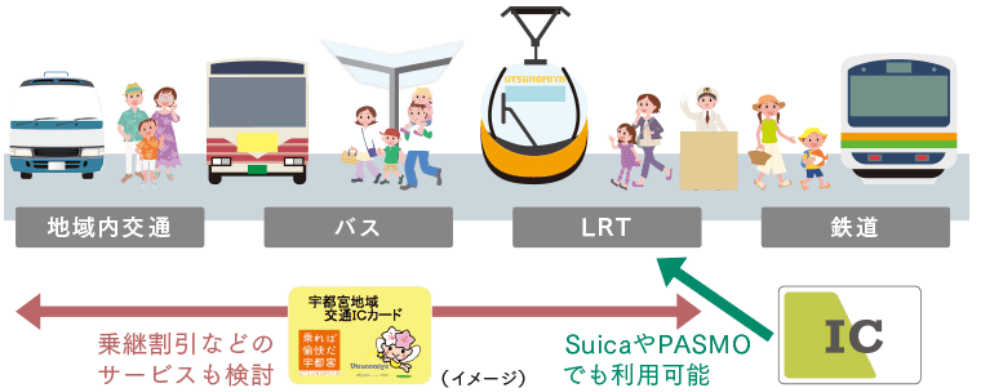
ポートラム（富山ライトレール）車内

◆交通ICカードの導入

LRTやバスで共通利用が可能な交通ICカードを導入します。

乗継割引やバスの中降り、前乗りへの改善など利用者の利便性向上や停留所での乗降時間短縮を図ります。

交通ICカードの導入例（広島電鉄）



出典：宇都宮市「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」パンフレットを基に作成